

CASBEE-建築(新築)2014年版
SEW IG OPERATION CENTER新築プロジェクト

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.1.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q1 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境					0.32	-	-	2.6
1 音環境				2.6	0.15	-	-	2.6
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音				2.2	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		(事)D数の界壁長さ加重平均=41.91		1.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能				4.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	
1.3 吸音				3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境				2.1	0.35	-	-	2.1
2.1 室温制御				3.2	0.50	-	-	
1 室温				3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能		外皮面積加重平均より、(事) 4.04		4.0	0.25	-	-	
3 ソーン別制御性				3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式				1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境				2.5	0.25	-	-	2.5
3.1 昼光利用				3.0	0.30	-	-	
1 昼光率		昼光率=1.70%		3.0	0.60	-	-	
2 方位別開口				-	-	-	-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策				1.0	0.30	-	-	
1 昼光制御				1.0	1.00	-	-	
2 映り込み対策				-	-	-	-	
3.3 照度		500Lx≤事務室平均照度; 554Lx<1000Lx		4.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境				3.5	0.25	-	-	3.5
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		ほぼ全面的にF☆☆☆☆採用		4.0	1.00	-	-	
2 アスベスト対策				-	-	-	-	
4.2 換気				3.0	0.30	-	-	
1 換気量		(事)基準法に基づく換気量の1.4倍以上		5.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能				3.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理				3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-	
2 喫煙の制御				3.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.7
1 機能性				3.5	0.40	-	-	3.5
1.1 機能性・使いやすさ				3.5	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		1人当たりの執務スペースが12㎡以上		5.0	0.50	-	-	
2 高度情報通信設備対応				2.0	0.50	-	-	
3 バリアフリー計画				-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性				4.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		2.7m≤有効天井高; 2.7m<2.9m +窓がある。		4.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース		休息室面積が執務スペースの1%以上+自販機		5.0	0.33	-	-	
3 内装計画				3.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務				-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.7	0.30	-	-	3.7
2.1 耐震・免震				4.6	0.50	-	-	
1 耐震性		基準法の50%増し以上の耐震性を有する。		5.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用。		5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性			2.8	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			4.2	0.30	-	-	4.2
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	<事>レベル4、<工>レベル5、面積加重平均よりレベル5で評価	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.09	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		<事>レベル3、<工>レベル5、面積加重平均よりレベル5で評価	5.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.38	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI:0.649 <0.8	5.0	0.03	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.12	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI 非住宅 - 住宅(専有部) -	5.0	0.60	-	-	5.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)	高効率エアコン、LED照明の採用	5.0	1.00	-	-	
	集合住宅の評価(3c)		-	-	-	-	
4 効率的運用			2.0	0.24	-	-	2.0
	集合住宅以外の評価		2.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	節水コマ+省水型機器	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60	-	-	3.1
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	府内産木材の採用 使用比率50%以上	5.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上げ材、OAフロア	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡断熱材を使用していない。	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=82%	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な量の駐車場、荷捌きスペース、導入路への配慮	4.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	